



## 地域でつなぐ 6次産業化推進シンポジウム開催

2月3日、十和田富士屋グランドホールで、地域内連携による6次産業化を促進するためのきっかけづくりとして『6次産業化推進シンポジウム』を開催。約140人が参加しました。

第1部では、『地域で取り組む6次産業化と地域伝統食品の新たな価値創造へ～産地間連携と輸出に取り組むための課題～』と題して、(株)テロワール・アンド・トラディション・ジャパン代表取締役の二瓶徹<sup>にへいとあ</sup>さんが基調講演を行いました。

第2部では、進行役に(株)パワフルジャパン十和田取締役の須田憲和<sup>かずし</sup>さん、パネリストに東北農政局食品企業専門官の高橋一志<sup>かずし</sup>さん、二瓶さん、(株)小原工業十和田香美工房の松田美穂<sup>みほ</sup>子さん、国産(株)代表取締役の影山恭英<sup>やすひで</sup>さんを迎え、『6次産業化の実践について』と題してパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、商品の『価値』について、「価値は心。心から生まれる商品は人を引き付けます。その価値の核や軸となるものが何なのかを考えていくことが重要です」など活発な議論が展開され、聴講者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

その後は、設けられた市内事業者による加工品のPRコーナーや相談コーナーで、試食をしたり、講師陣に相談をしたりと、交流を図りながら連携の輪を広げました。



▲パネルディスカッションの様子(写真左から)進行役の須田さん、パネリストの高橋さん、二瓶さん、松田さん、影山さん



▲十和田産品の魅力を味わうPRコーナー

## 十和田産食材でおいしい給食

2月3日から23日にかけて、保育園など市内35カ所で、十和田産のゴボウとナガイモを提供する『とわだ育ち地産地消費提供事業』を行いました。

長いゴボウや太いナガイモを目の前に驚きの声を上げる園児たち。各園では、ゴボウの天ぷらやナガイモすいとんなど、調理師たちが腕を振るって料理し、地元食材の魅力を伝えてくれました。

おいしい十和田の食材に触れ、存分に味わった園児たちは大満足！十和田の元気な子どもを育みます

▶十和田めぐみ保育園の様子(2月3日)



### お知らせ

#### 十和田産品を使った 新商品をお披露目します

市の「買ってもらえる商品づくり支援事業」で、誕生した新商品やブラッシュアップされた商品の完成お披露目会を開催します。

※試食はなくなり次第終了します

とき 3月18日(金)

午後1時30分～2時30分

ところ 市民交流プラザ

みんなで来てね★

